

# MEDIAEDGE



1フレーム以下の超低遅延  
H.264 HD エンコーダー／デコーダー

## MGW Sprint

取扱説明書



# ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

## メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL:078-265-1552

FAX:078-265-1550

月曜～金曜 10:00～12:00 / 13:00～17:00

※土日祝および当社指定休日を除く

## 著作権に関する注意

MEDIAEDGE(メディアエッジ 以下「当社」)は、本書を「現状のまま」提供し、一切の保証を致しません。当社は、市販性、特定の目的に対する適合性、非侵害性、および契約の履行、取り引きの過程や、商慣習で起こる保証について、またそれに限定されない、明示的または暗黙的を問わないいかなる保証もしません。当社は、本書に含まれる誤記、省略、不具合、不足、不一致について責任を負いません。また、本書に含まれる情報に関連する知的財産権の侵害に対しては一切責任を負いません。

明示的または暗黙的ないかなる知的財産権のライセンスも、本書の下では付与されることはありません。本書および上記で説明したソフトウェアは、個別のライセンスの元で提供され、それぞれのライセンスの条件の下で使用およびコピーいただく必要があります。本書は情報の提供のみを目的として提供されており、予告なしで変更される場合があります。また、当社による公約として解釈されるものではありません。該当するライセンスで許可される場合を除き、本書のいかなる部分も、当社による書面による同意なく、複製・検索システムへの保存・いかなる形式や手段による転記することは禁止されています。

本書においてMEDIAEDGE製品・VITEC製品を示す名前やロゴは、それぞれMEDIAEDGEとVITECの登録商標または商標になっています。本書に記載されているその他のすべての商標は、各所有者に帰属します。

Copyright © 2016 MEDIAEDGE. All rights reserved.  
<http://www.mediaedge.com/>

Copyright © 2016 VITEC. All rights reserved.  
<http://www.vitec.com/>

## 安全上の注意事項

- 本製品が損傷しないように、また、担当者が安全に作業できるように、次の安全上のガイドラインを遵守してください。
- 適切な資格を有する担当者のみが、本製品とその部品をインストール・接続・および保守するようにしてください。

## 本製品の使用時

- 感電を防止するために電源ケーブルは、適切に接地されたコンセントに接続してください。
- エクステンションやアダプターが必要な場合、適切に接地されているものだけを使用してください。
- 本製品の電源ケーブルの上には何も置かれていないこと。また、人に踏まれたり、つまずいたりする場所にこれらのケーブルが配置されていないことを確認してください。
- 本製品のユニットに食べ物や飲み物をこぼさないでください。
- 本製品のユニットはラジエーターや熱源機器の近くに設置しないでください。
- 本製品のユニットをベッド・ソファ・絨毯などの上に設置しないでください。
- 電源ケーブルを取り外すときには、ケーブル部ではなく、ケーブルのコネクター部や張力緩和ループを持って取り外してください。
- 静電気に関する警告：  
静電放電を避けるために、一般的な静電気除去対策を講ずるようにしてください。

## 警告

装置カバーを取り外したり部品を交換したりしないでください。  
これらの操作を行うと保証の対象外となります。

<b>第1章 本マニュアルについて</b>	<b>04</b>
▶ 概要 .....	04
▶ マニュアルを構成するセクション .....	04
<b>第2章 MGW Sprintの概要</b>	<b>05</b>
▶ 製品の概要 .....	05
▶ パッケージの開梱 .....	05
▶ システム要件 .....	05
▶ I/Oの仕様 .....	06
• MGW Sprint エンコーダー .....	06
• MGW Sprint デコーダー .....	07
<b>第3章 はじめに</b>	<b>08</b>
▶ 製品導入のための接続とセットアップ .....	08
<b>第4章 セットアップと操作</b>	<b>12</b>
▶ インターフェイスの仕様 .....	12
▶ 機能 .....	12
▶ メインメニュー .....	12
▶ ダッシュボードフレーム .....	12
▶ Channel (チャンネル) ページ .....	14
• MGW Sprint エンコーダー .....	15
• MGW Sprint デコーダー .....	16
▶ System (システム) ページ .....	17
▶ Configurations (構成) ページ .....	19
▶ General (全般) ページ .....	20
▶ 設定のリセット .....	21
<b>第5章 フォームウェアのアップデート</b>	<b>22</b>
▶ アップデート前の重要な注意 .....	22
<b>付録 ビデオの再生</b>	<b>26</b>
▶ MGW Sprintデコーダーをプレーヤーとして設定する .....	27
▶ EZ TVをプレーヤーとして設定する .....	28
▶ プレーヤーとして VLC を設定する .....	29

# 第1章 本マニュアルについて

## 概要

本書に含まれる情報は、予告なく変更される場合があります。

- MEDIAEDGEは、本マニュアルに含まれる誤記について一切その責任を負いません。
- 特に注記のない限り、例示されている企業・名称・データは架空です。本書のいかなる部分も、MEDIAEDGEによる書面による明示的な許可なく、電子的や機械的を問わず、いかなる形式や手段で、いかなる目的においても、コピーまたは再生できません。
- MEDIAEDGEでは、本書について一切保証せず、商品性や特定目的への適合性についてあらゆる黙示の保証を行うものではありません。
- ファイル名や配布ディスクに実際に含まれるファイルについては、適宜変更される場合があります。
- MEDIAEDGEでは、本書で説明しているように、配布ディスクに存在する、あるいは配布資料の一部として提供されるこれらのファイルなどについて、一切保証しません。

## マニュアルを構成するセクション

このマニュアルは、次の章とセクションから構成されます。

### MGW Sprintの概要

MGW Sprint製品・システム要件およびI/Oの仕様について説明します。

### はじめに

最初にMGW Sprintに接続する方法を説明します。

### セットアップと各種の操作

MGW Sprintの設定や構成方法、ソフトウェアやファームウェアバージョンのアップデート方法について説明します。

### MGW Sprintのリセット

装置をリセットする方法を説明します。

### ファームウェアのアップデート

MGW Sprintファームウェアをアップデートする方法を説明します。

### MGW Sprintビデオストリームの再生

プレーヤーをセットアップして、MGW Sprint チャンネルを再生する方法を説明します。

## 第2章 MGW Sprintの概要



### 製品の概要

- MGW Sprintは、TurboVideo™テクノロジーを組み入れた産業用グレードのH.264ポータブルエンコーディングおよびストリーミング装置です。
- MGW Sprintエンコーダーは、最大でフルHD1080 60p解像度のビデオ入力を放送品質を維持し、最小限での帯域幅でより高精細・低遅延なストリーミングができるように設計されています。
- VITECのEZ TVまたは標準的なH.264ビデオプレーヤーを使用してストリームを視聴できます。「MGW Sprintビデオストリームの再生」を参照してください。

### パッケージの開梱

- MGW Sprint本体
- ACアダプター
- マニュアルCD
- ゴム足×4(本体底面の取り付け用穴に装着することができます)

### オプションの部品(別売)

- 取り付け用ラック(ラックの1台の棚に最大で2台のMGW Sprintを設置が可能)

### システム要件

#### ▶ オペレーションシステム

- Microsoft® Windows XP®
- Microsoft® Windows 2003®
- Microsoft® Windows 7®
- Apple® Mac OS® 10.6以前
- Microsoft® Windows Vista®
- Microsoft® Windows 2008®
- Microsoft® Windows 8®

#### ▶ インターネットブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 7® 以降
- Safari 4® 以降(Mac)
- FireFox 3.6® 以降(WindowsおよびMac)
- Google Chrome™

## I/Oの仕様

### ▶ MGW Sprint エンコーダー フロントパネル



LED/ポート	LEDのステータス	詳細
POWER LED	オフ	MGW Sprintの電源はオフです。
	緑色	MGW Sprintは動作中です。
	緑色に点滅	MGW Sprintが起動中またはアップデート中です。
ERROR/VIDEO IN/ STREAM LED	オフ	利用できません(常にオフです)。
USBポート	—	現在は使用しません。

### リアパネル



	コネクタラベル	コネクタ	詳細
①	STRM	RJ-45	ストリーミングおよび管理用のGigabit Ethernet
②	RESET	—	軽く押すと、再起動します。長押し(3秒)すると、ユニットが出荷時の設定に戻ります。
③	POWER+12V	—	電源入力
④	HDMI	—	HDMI入力
⑤	HD/SD-SDI 1	BNC	3G/SDI入力(HD)

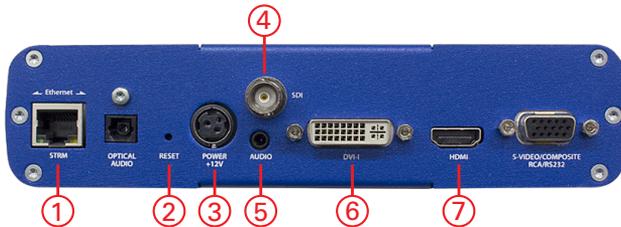
※この表に記載されていないコネクタは使用しません。

## ▶ MGW Sprint デコーダー フロントパネル



LED/ポート	LEDのステータス	詳細
POWER LED	オフ	MGW Sprintの電源はオフです。
	緑色	MGW Sprintは動作中です。
	緑色に点滅	MGW Sprintが起動中またはアップデート中です。
ERROR/VIDEO IN/STREAM LED	オフ	利用できません(常にオフです)。
USBポート	—	現在は使用しません。

## リアパネル



	コネクタラベル	コネクタ	詳細
①	STRM	RJ-45	ストリーミングおよび管理用のGigabit Ethernet
②	RESET	—	軽く押すと、再起動します。長押し(3秒)すると、ユニットが出荷時の設定に戻ります。
③	POWER +12V	—	電源入力
④	AUDIO	ミニジャック	ミニジャックオーディオ出力
⑤	DVI-I	—	DVI-D出力
⑥	HDMI	—	HDMI出力
⑦	SDI 1	BNC	3G/SDI出力(HD)

※この表に記載されていないコネクタは使用しません。

# 第3章 はじめに

## 製品導入のための接続とセットアップ

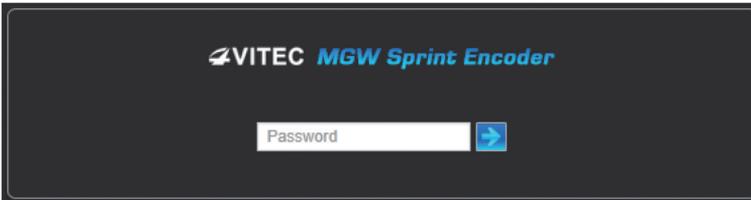
MGW Sprintは固定IPアドレスを使用します。  
初期値は192.168.1.1(エンコーダー)と192.168.1.2(デコーダー)に設定されており、直接接続したコンピュータからログイン可能です。

### ▶ MGW Sprintのネットワーク設定を最初に構成するには

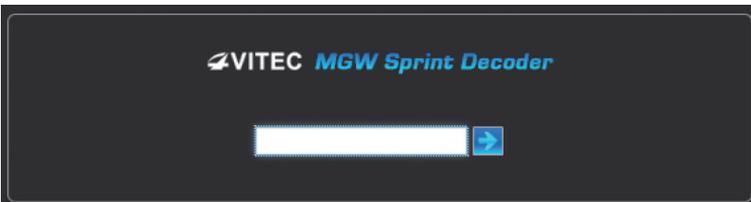
1. 電源入力ポートに電源を接続します。
2. STRMとラベルが貼られているネットワークポートとIPアドレス192.168.1.x、サブネットマスク255.255.255.0に設定したパソコンをネットワークケーブルで接続し、192.168.1.1(エンコーダー)および192.168.1.2(デコーダー)に接続可能なことを確認してください。

### ▶ MGW Sprintのネットワーク設定をブラウザから最初に構成するには

1. MGW SprintのIPアドレスをURLフィールドに入力します。  
ログインウィンドウが表示されます。



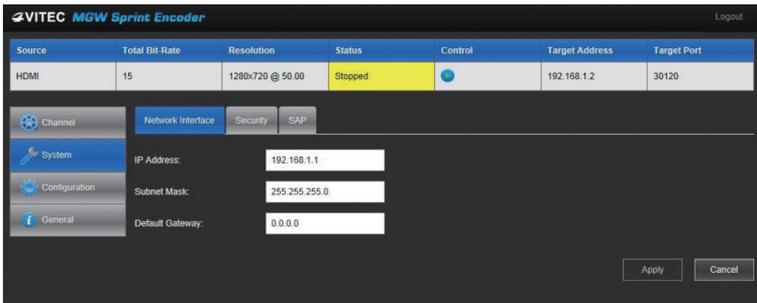
ログイン画面(エンコーダー)



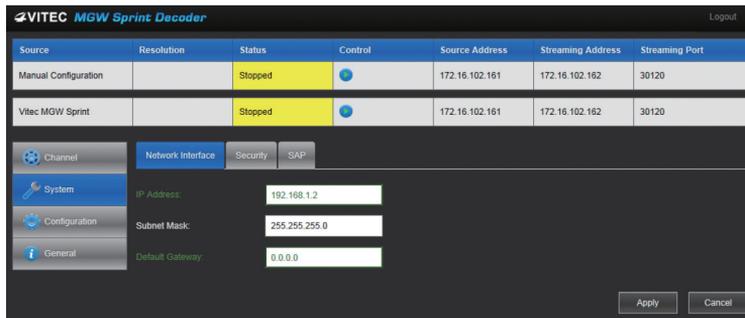
ログイン画面(デコーダー)

2. パスワードを入力し(デフォルトのパスワードは「1qaz!QAZ」)、青色の矢印をクリックします。  
MGW Sprintのインターフェイスが起動します。

3. メインメニューから[System(システム)]を選択します。  
[System(システム)]ページが開きます。



メインメニュー(エンコーダー)



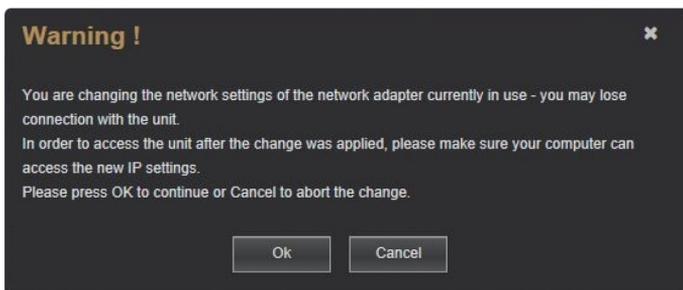
メインメニュー(デコーダー)

4. 次のパラメーターを設定して、[Apply(適用)]をクリックします。

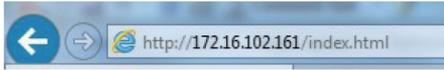


パラメーター	詳細
IP Address (IPアドレス)	固定のIPアドレスを入力します。
Subnet Mask (サブネットマスク)	サブネットマスクのアドレスを入力します。
Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)	デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

5. 次の警告画面が表示されます。



- [ OK ] をクリックします。  
新しいIPアドレスが適用され、ブラウザのURLフィールドに表示されます。



VITEC MGW Sprint Encoder Logout

Source	Total Bit-Rate	Resolution	Status	Control	Target Address	Target Port
HDMI	15	1280x720 @ 50.00	Stopped		192.168.1.2	30120

Info ! Network interface settings have been successfully changed. Please save the configuration to permanently apply these settings. ×

Channel

System

Configuration

General

Source	Processing	Target
Source: HDMI	Video Bit-Rate (Mbps): 15 Sampling Scheme: 4:2:2 Frame Sampling: Full Encode Audio: <input checked="" type="checkbox"/>	Channel Name: Vittec MGW Sprint Target Address: 192.168.1.2 Target Port: 30120 TTL: 10 SAP: <input checked="" type="checkbox"/>

Apply Cancel

**⚠ 注意**

MGW SprintのIPアドレスを別のサブネットに変更すると、再接続するためには、コンピューターのネットワーク設定を再構成する必要がある場合があります。

- メインメニューから[Configuration(構成)]を選択して、構成を保存します。  
(構成を保存しないと、MGW Sprintを再起動するときに古いIPアドレスが使用されます)

# 第4章 セットアップと操作

## インターフェイスの仕様

### 機能

選択しているメニュー項目に関わらず、次の機能は常に利用できます。

パラメーター	詳細
Dashboard frame (ダッシュボード フレーム)	ページの上部に表示され、チャンネルを制御および監視できます。
Logout (ログアウト)	アプリケーションからログアウトできます。

### メインメニュー

メインメニューには、次の項目が含まれます。

パラメーター	詳細
Channel (チャンネル)	ソース (入力元)、処理内容、ターゲット (出力先) に関するチャンネルパラメーターを表示および設定できます。
System (システム)	ネットワーク・パスワードおよびSAPのパラメーターを表示および設定できます。
Configurations (構成)	システムの構成を保存したり、デフォルト値にリセットしたりできます。
General (全般)	製品バージョンやライセンスなどのシステム情報が表示されます。また、再起動やファームウェアのアップデート機能も利用できます。

### ダッシュボードフレーム

ダッシュボードフレームセクションでは、チャンネルのステータスを表示したり、再生を制御したりできます。

Source	Total Bit-Rate	Resolution	Status	Control	Target Address	Target Port
HDMI	15	1280x720 @ 50.00	Playing		172.16.102.162	30120

ダッシュボードフレーム (エンコーダー)

Source	Resolution	Status	Control	Source Address	Streaming Address	Streaming Port
Manual Configuration		Stopped		172.16.102.161	172.16.102.162	30120
Vitec MGW Sprint	1280x720 @ 50.00	Playing		172.16.102.161	172.16.102.162	30120

ダッシュボードフレーム (デコーダー)



Sprintデコーダーは、複数のエンコーディングデバイスからの Session Announcement Protocol (SAP) メッセージを同時に検出でき、[Manual Configuration (手動構成)] エントリーの下に表示しますが、デコードできるのは 1チャンネルのみです。

次の情報が表示されます。

パラメーター	表示	詳細
Source(ソース)	—	選択したソースが表示されます。
Resolution (解像度)	—	ビデオの解像度が表示されます。
Status(ステータス)	Playing(再生中) Stopped(停止) Error(エラー)	チャンネルのステータスが表示されます。 [Error(エラー)]ステータスの上にマウスを移動すると、エラーの説明がヒントとして表示されます。
Control(制御)	 再生/停止	チャンネルのステータスが表示されます(ステータスは変更できます)。関連イベントも表示できます。 チャンネルには、次の3つのステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Stopped(停止)</b> オレンジ色。これらの設定が構成されていますが、ユーザーはチャンネルをアクティブ化していません。</li> <li>• <b>Playing(再生中)</b> 緑色。チャンネルはストリーミングされており、エラーは発生していません。</li> <li>• <b>Error(エラー)</b> 赤色。チャンネルでエラーが発生しています。</li> </ul>
Total Bit-Rate (合計ビットレート) ※エンコーダーのみ	—	オーディオを除く、合計のビデオビットレートが表示されます。
Target Address (ターゲットアドレス) ※エンコーダー	—	ターゲット(送信先)のIPアドレスが表示されます。
Target Port (ターゲットポート) ※エンコーダー	—	ターゲット(送信先)のIPポートが表示されます。
Source Address (ソースアドレス) ※デコーダー	—	ソースMGW SprintのIPアドレスが表示されます。
Streaming Address (ストリーミングアドレス) ※デコーダー	—	ストリーミング装置のIPアドレスが表示されます。
Streaming Port (ストリーミングポート) ※デコーダー	—	ストリーミング装置のIPポートが表示されます。

## Channel(チャンネル)ページ

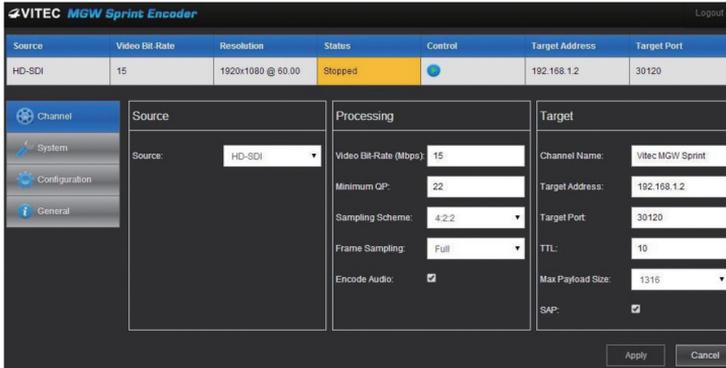
[Channel(チャンネル)]ページで、次のセクションのパラメーターを設定します。

セクション	詳細
Source(ソース)	ビデオソースを選択します。
Processing(処理)	エンコーディングのパラメーターを設定します。
Target(ターゲット)	出力ストリームのパラメーターを設定します。

### ▶ チャンネルパラメーターを設定するには

1. メインメニューから [Channel(チャンネル)]を選択します。
2. 各セクションにある次のパラメーターを適切に設定して、[Apply(適用)]をクリックします。

▶ MGW Sprint エンコーダー



[Source(ソース)]セクション

パラメーター	詳細
Source(ソース)	有効なソースを選択します。

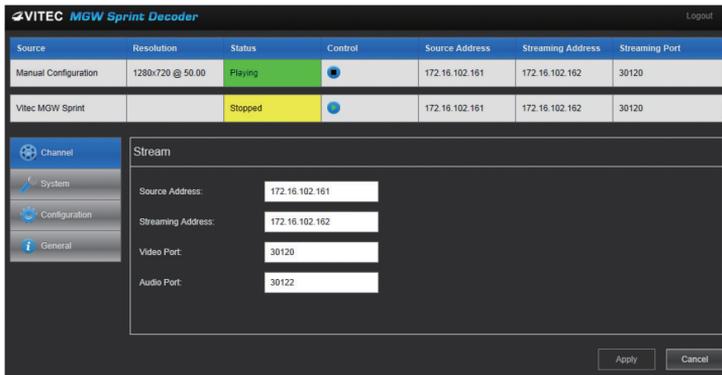
[Processing(処理)]セクション

パラメーター	詳細
Video Bit-Rate (ビデオビットレート)	ビデオビットレートの値をMbpsの単位で入力します。
Minimum QP(最小QP)	ビットレートと画質間のバランスを制御する量子化パラメーターを入力します(デフォルト値は22で、範囲は1-51)。
Sampling Scheme (サンプリング方法)	クロマサンプリングの形式を選択します。
Frame Sampling (フレームサンプリング)	フレームサンプリングモードを選択します。
Encode Audio (オーディオのエンコード)	チェックボックスをオンにして、オーディオエンコーディングを有効にします(PCM形式のみ)。

[Target(ターゲット)]セクション

パラメーター	詳細
Channel Name (チャンネル名)	チャンネル名を入力します。 この名前は、SAP(Session Announcement Protocol)メッセージにも表示されます。
Target Address (ターゲットアドレス)	送信先(ターゲット)のIPアドレスを入力します。
Target port (ターゲットポート)	ターゲット(送信先)のポートを入力します。
TTL	TTL(有効時間)の値を入力します。
Max Payload Size (最大ペイロードサイズ)	出力ストリームのネットワークペイロードの最大サイズを入力します(デフォルトは1316バイト)。
SAP	Session Announcement Protocolを有効にするには、[SAP]チェックボックスをオンにします。

▶ MGW Sprint デコーダー



[Stream(ストリーム)]セクション

パラメーター	詳細
Source Address (ソースアドレス)	ソースのIPアドレスを入力します。
Streaming Address (ストリーミングアドレス)	ストリーミングアドレスポートを入力します。
Video Port (ビデオポート)	ビデオポートを入力します。
Audio Port (オーディオポート)	オーディオポートを入力します(デフォルトは、ビデオポート+2)。



表示されているフィールドは、手動構成を選択している場合にのみ利用されます。SAPプロトコルを介して配信されるチャンネルをデコーディングする場合には、これらのフィールドは自動的に構成されます。

▶ エンコーダーとデコーダーの両方を適用するときには、次の点に注意してください。



新しい設定を適用するには、[Apply(適用)]をクリックする必要があります。



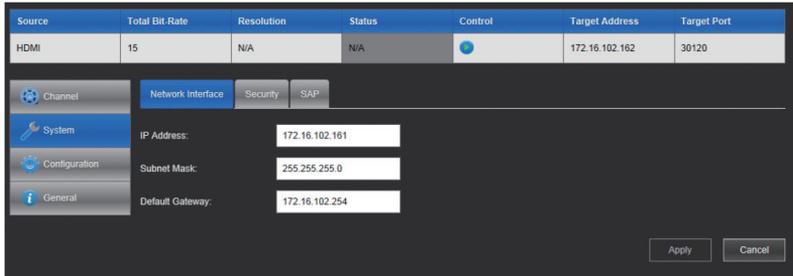
チャンネルの再生中にビデオソースが失われたり切断されたりすると、ストリームは停止します。このような場合には、以下をご確認ください。

- ソースが接続されていること。
- 正しい入力コネクタが[Channels(チャンネル)]ページで選択されていること。ビデオソースが復旧したときに、システムが自動的にストリームを再開するように構成することも可能です。
- [Configuration(構成)]ページで、Sprintエンコーダーの[Auto Start(自動開始)]チェックボックスをオンにします。
- 手動構成を使用して、Sprintデコーダーを構成します。

## System(システム)ページ

[System(システム)]ページで、次のセクションのパラメーターを設定します。

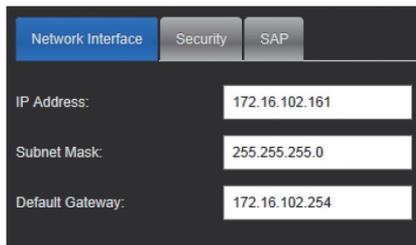
セクション	詳細
Network Interface(ネットワークインターフェイス)	ネットワークの設定を行います。
Security(セキュリティ)	パスワードの設定を行います。
SAP	SAPの設定を行います。



### ▶ システムパラメーターを設定するには

1. メインメニューから[System(システム)]を選択します。
2. 各セクションにあるパラメーターを適切に設定して、[Apply(適用)]をクリックします。

### ▶ ネットワークインターフェイスを設定するには



パラメーター	詳細
IP Address(IPアドレス)	固定のIPアドレスを入力します。
Subnet Mask(サブネットマスク)	サブネットマスクアドレスを入力します。
Default Gateway(デフォルトゲートウェイ)	デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

▶ **[Security(セキュリティ)]の各項目を設定するには**

The screenshot shows a configuration interface with three tabs: 'Network Interface', 'Security' (selected), and 'SAP'. Under the 'Security' tab, there are two input fields: 'New Password:' and 'Re-Type Password:'. The 'New Password' field contains a white rectangle, and the 'Re-Type Password' field also contains a white rectangle.

パラメーター	詳細
New Password(新しいパスワード)	新しいパスワードを入力します(8~14文字)。
Re-Type Password(パスワードの再入力)	新しいパスワードをもう一度入力します。

▶ **SAPを設定するには**

The screenshot shows a configuration interface with three tabs: 'Network Interface', 'Security', and 'SAP' (selected). Under the 'SAP' tab, there is a checked checkbox labeled 'Use default SAP address and port'. Below it are three input fields: 'IP Address:' with the value '224.2.127.254', 'Port:' with the value '9875', and 'Announcement Interval (sec):' with the value '5'.

パラメーター	詳細
Use default SAP address and port (デフォルトのSAPアドレスとポートを使用)	RFC2974のとおり、デフォルトの Session Announcement Protocolマルチキャストグループとポートを使用します。
IP Address(IPアドレス)	SAPメッセージの送信先となるマルチキャストIPアドレスを設定します。
Port(ポート)	SAPメッセージの送信先となるポートを設定します。
Announcement Interval(sec) (SAPメッセージの間隔)	SAPメッセージの間隔(秒)を設定します。



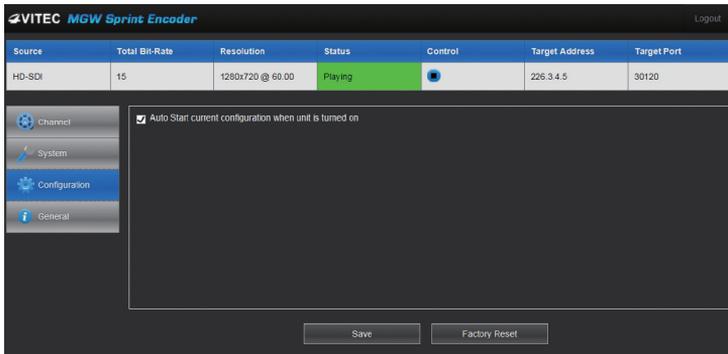
新しいSAP設定を適用するには、次の操作を実行する必要があります。

- [Apply(適用)]をクリックします。
- [Configuration(構成)]ページで構成を保存します。
- MGW Sprintを再起動します。

## Configurations (構成) ページ

### ▶ MGW Sprintエンコーダー

MGW Sprintエンコーダーでは、現在の構成を保存し、次回ログオンするときに自動的にロードできます。また、出荷時の設定に戻すこともできます。



[Save(保存)]をクリックして、現在の構成を保存します。

#### 自動開始を有効にするには

1. [Auto Start(自動開始)]チェックボックスをオンにします。
2. [Save(保存)]をクリックします。構成が保存されます。

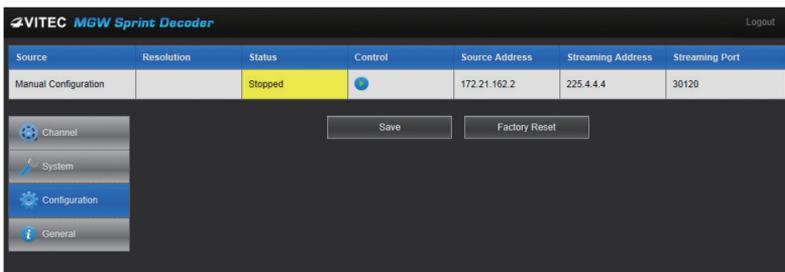
MGW Sprintが次回再起動されるときに、現在の構成がロードされ、チャンネルが自動的に開始されます。



新ビデオソースは、構成が保存されたときに使用されていたソースと同じである必要があります。

### ▶ MGW Sprintデコーダー

MGW Sprintデコーダーでは、構成を保存し、次回ログオンするときに自動的にロードできます。また、出荷時の設定に戻すこともできます。



[Save(保存)]をクリックして、現在の構成を保存します。

## General(全般)ページ

[General(全般)]ページで、装置全体のパラメーターを表示したり、ファームウェアをアップデートしたりできます。

### ▶ [System Information(システム情報)]パラメーターを表示するには

パラメーター	詳細
MAC Address(MACアドレス)	ネットワークインターフェイスカードのストリーミング用のMACアドレスを表示します。

### ▶ ソフトウェアとハードウェアのバージョン情報を表示するには

パラメーター	詳細
Product(製品)	製品のバージョンが表示されます。
Hardware(ハードウェア)	現在のハードウェアバージョンが表示されます。
Software(ソフトウェア)	現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

アップデートの操作手順は、22ページの「ファームウェアのアップデート」を参照してください。

### ▶ MGW Sprintをリセットするには

MGW Sprintを再起動するには[Restart(再起動)]をクリックします。

## 設定のリセット

MGW Sprintは、次のいずれかの方法でリセットできます。

- ハードウェアリセット
- ソフトウェアリセット

### ▶ ハードウェアからリセットするには

MGW Sprintエンコーダーおよびデコーダーの背面パネルにある[RESET]ボタンを押します。短く押すと再起動し、長押し(3秒)するとユニットが出荷時の設定に戻ります。

### ▶ アプリケーションからリセットするには

1. 出荷時のデフォルト値に戻すには、[General(全般)]ページで [Factory Reset(出荷時の設定に戻す)]をクリックします。



2. [Yes(はい)]をクリックします。

# 第5章 フォームウェアのアップデート

## アップデート前の重要な注意

- 重要なアップデートを含み、機能を拡張する新しいファームウェアバージョンを公開しています。
- MGW Sprintファームウェアとソフトウェアをアップデートするときには、ユニットのHTTPユーザーインターフェイスから圧縮された(.bit)ファイルをアップロードし、ユニットが必要なファイルを取得して、ユニットをアップデートできるようにします。.bitファイルのアップロードは、コンピューターによって所要時間が異なりますが、10分以上かかる場合があります。また、コンピューターとMGW Sprint間のネットワーク速度と通信品質によっても時間が変わる場合があります。
- アップデート時には、ファイルがアップロードされると、WebベースのHTTPインターフェイスがユニットのステータスを定期的に確認します。  
MGW Sprint内部で実際にアップデートが実行されているときにも、確認動作が実行されます。アップデートが完了すると、アップデートが成功したことを示すメッセージが画面に表示されます。しかし、ブラウザがMGW Sprintのステータスを読み取ることができない場合があり、画面が更新されず、アップデートが完了してもこのメッセージが画面に表示されない場合があります。アップデートが中断しないように、ファイルのアップロードに使用しているアクティブなブラウザウィンドウは閉じないようにしてください。
- アップデートが終了しているかどうかを確認するには、前面パネルにあるPOWER LEDを確認します。



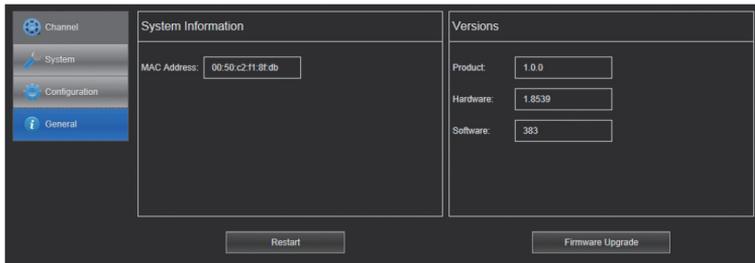
- LEDが点滅していれば、アップデートは完了していません。
- LEDが点灯していれば、アップデートが完了し、再度ログインすることが可能です。  
新しいブラウザタブを使用してログオンします。

再度ログインできるようになり、製品のバージョンが、使用された新しいファームウェアファイルと一致していることを確認したら、アップデートに使用した元のブラウザウィンドウまたはタブを閉じることができます。

次の操作手順をよく読んでください。また、「注」や「警告」のすべての内容に特に注意してください。

### ▶ MGW Sprintのファームウェアバージョンをアップデートするには

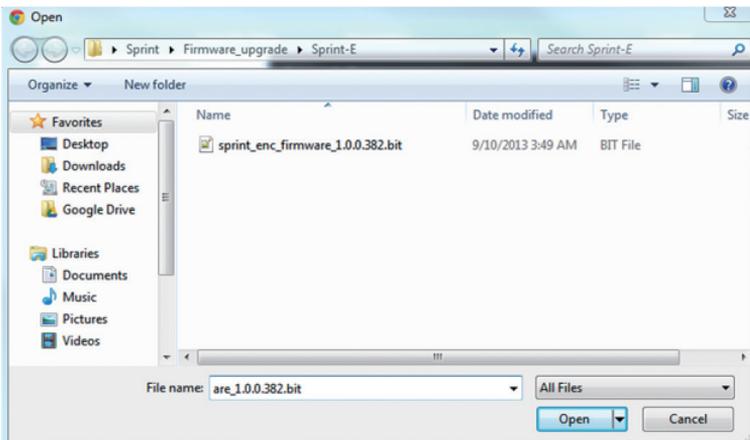
1. MEDIAEDGEにファームウェアアップデートの要求を送信します。
2. アップデート手順を開始する前に、すべてのビデオおよびオーディオソースの接続を解除します。電源およびEthernetケーブルだけは接続しておく必要があります。
3. [General(全般)]タブをクリックします。



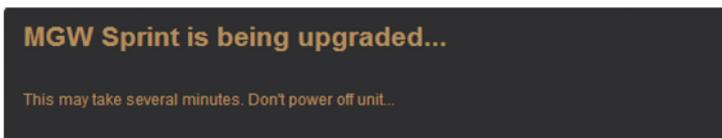
4. [Firmware Upgrade(ファームウェアのアップデート)]をクリックします。  
[Load Firmware(ファームウェアのロード)]ウィンドウが表示されます。



5. [Browse(参照)]をクリックします。ブラウザウィンドウが表示されます。



- 適切な\*.bitファイルを選択して、[Load(ロード)]をクリックします。  
新しいバージョンがロードされます。  
アップデート中であることを示す次の画面が表示されます。



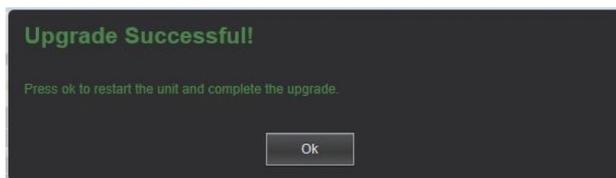
アップデート中は  
MGW SprintのPOWER LEDが  
緑色に点滅します。

### 警告

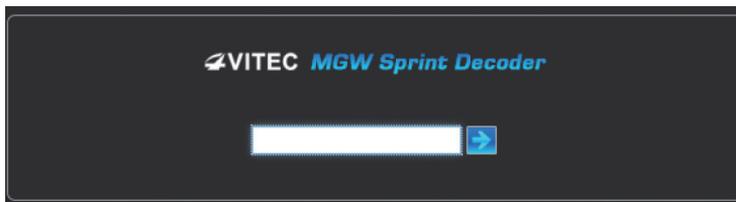
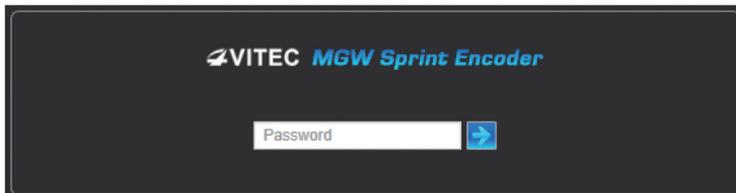
コンピューターのインターネットブラウザは、ファイルをアップロードするときに、装置のステータスを確認します。  
ユーザーはこの間は操作せずに、ロードを完了できるようにしてください。ブラウザの更新などの操作は、ロード中には実行しないでください。

ロードが完了すると、POWER LED の点滅が停止し、アップデートが成功したことを示すメッセージが表示されます。

- [OK]をクリックして、アップデートを完了し、MGW Sprintを再起動します。



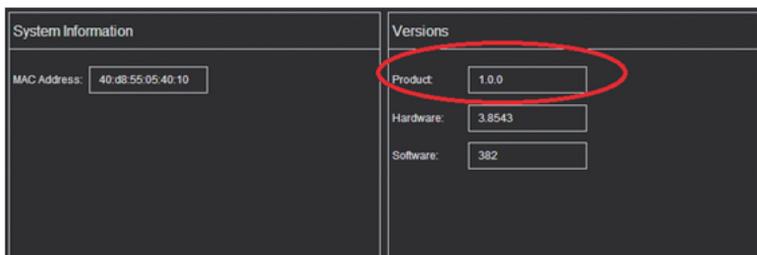
- 再起動が完了するとPOWER LEDが緑色に点灯し、ログインウィンドウが表示されます。(下図を参照)



- ログインウィンドウが表示されない場合には、新しいブラウザタブを開きます。アップデートの前にSprintに設定されていたIPアドレスをURLフィールドに挿入します。ログインウィンドウが表示されたら、前のブラウザタブを閉じて、手順9に進みます。
- それでもログイン画面が表示されない場合には、アップデートの前に設定していたIPアドレスを使用してコンピューターからpingを実行します。一定時間が経過してもMGW Sprintが応答しないせずに、ステータスランプが点滅を停止した場合、背面パネルにある「Factory Reset (出荷時の設定に戻す)」ボタンを押す必要がある場合があります。このボタンを押すと、ユニットのIPアドレスが出荷時の設定に戻ります。エンコーダーのIPアドレスは192.168.1.1にデコーダのIPアドレスは192.168.1.2に戻ります。

- ログオンします。

- [General(全般)]画面で、[Versions(バージョン)]セクションの[Product(製品)]を確認して、正しくアップデートされているかを確認します。製品バージョンは、適用したアップデートファイルに表示されているバージョンと一致します。



# 付録 ビデオの再生

MGW Sprintは、ISO互換のMPEG-4 Part-10(H.264)圧縮をRTPで使用します。MGW Sprintストリームは、[Live Preview(ライブプレビュー)]ページまたは次のビデオプレーヤーを使用して表示できます。

- VITEC EZ TVプレーヤー
- MGW Sprintデコーダー
- VideoLan(VLC)プレーヤーなどのサードパーティのソフトウェアH.264デコーダー



チャンネルの再生中にビデオソースが失われたり切断されたりすると、ストリームが停止します。このような場合には、以下をご確認ください。

- ソースが接続されていること。
- 正しい入カコネクタが[Channels(チャンネル)]ページで選択されていること。ビデオソースが復旧したときに、システムが自動的にストリームを再開できるように構成することも可能です。
- [Configuration(構成)]ページで、Sprintエンコーダーの[Auto Start(自動開始)]チェックボックスをオンにします。
- 手動構成オプションを使用して、Sprintデコーダーを構成します。

## MGW Sprintデコーダーをプレーヤーとして設定する

SAPが検出したチャンネルは、デコーダーのダッシュボードフレームに表示されます。



- SAPチャンネルをデコーダーのダッシュボードフレームに表示するには、デコーダーがMGW Sprintエンコーダーと同じネットワークにある必要があります ([System (システム)] ページ > [Network Interface (ネットワークインターフェイス)])。
- 企業がSAPに異なる値を明示的に使用していない限り、[System (システム)] ページ > [SAP] でSAPパラメーターが正しく設定され、[Use default SAP address and port (デフォルトのSAPアドレスとポートを使用)] が選択されている必要があります。

SAPチャンネルではないチャンネルは、[Channel (チャンネル)] ページの [Stream (ストリーム)] セクションで手動で構成する必要があります。

このチャンネルの構成方法に関する特別な指示については、[Channel (チャンネル)] ページの「MGW Sprintデコーダー」セクション (16ページ) を参照してください。

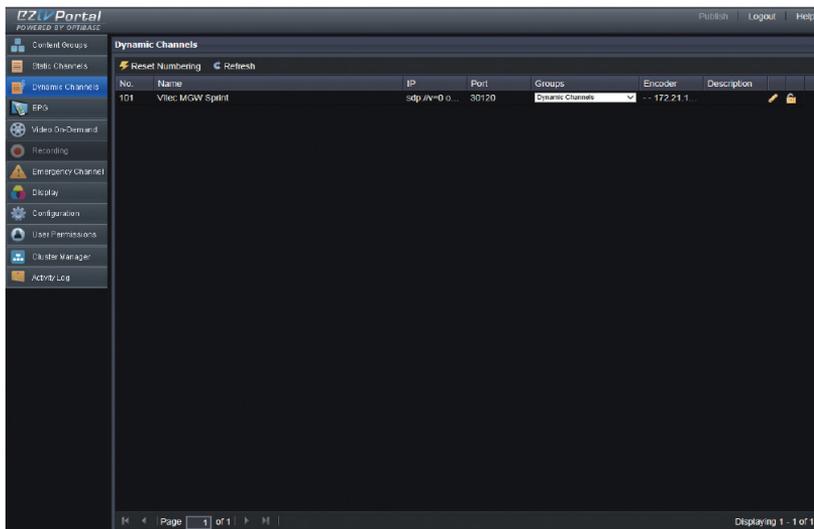
このチャンネルは「Manual Configuration (手動構成)」という名前の下でデコーダーのダッシュボードフレームに表示され、再生時には、[Resolution (解像度)] フィールドにその解像度が表示されます。



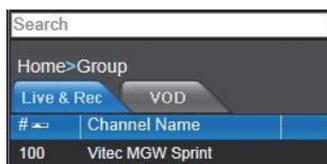
- SAP以外のチャンネルが停止すると、[Resolution (解像度)] フィールドには何も表示されません。
- SAP以外のチャンネルが開始されているものの、正しく構成されていない場合、[Resolution (解像度)] フィールドには「0x0 @ 0.00」と表示されます。
- SAP以外のチャンネルが開始され、正しく構成されている場合、[Resolution (解像度)] フィールドに入力解像度とフレームレートが表示されます。

## EZ TVをプレーヤーとして設定する

EZ TVが動的なチャンネルから再生できるのは、SAPタイプのチャンネルのみです。動的なチャンネルとは、ビデオエンコーダーによって送信される情報からすべての構成パラメーターが自動的に生成され、動的に更新されるライブチャンネルであり、管理者はこれらのパラメーターは変更できません。



EZ TV Portal



EZ TV Player

- チャンネルは、SAPアナウンスメント情報を基準として自動的に追加されます。これらのチャンネルは、[Dynamic Channels (動的なチャンネル)] という名前のグループに自動的に追加され、アクティブなすべてのEZ TVプレーヤーにすぐに公開されます。
- SAPのマルチキャストIPアドレスとポートは、[Configuration (構成)] 画面の[SAP Listener Settings (SAPリスナー設定)] で定義できます。デフォルトのマルチキャストアドレスは、RFC 2974で定義されるデフォルトの設定になります (IP - 224.2.127.254、ポート - 9875)。
- 詳細については、EZ TV PortalおよびEZ TVプレーヤーのマニュアルを参照してください。

## プレーヤーとして VLC を設定する

### ▶ マルチキャストストリームの再生

1. マルチキャストストリームを送信するようにエンコーダーが構成されている場合、プレーヤーとして使用するコンピューターで、メモ帳などのテキストエディターを使用し、次のパラメーターを含むSDPテキストファイルを作成します。

```
o=IN IP4<エンコーダーのIPアドレス>
c=IN IP4<ターゲットIPアドレスとしてエンコーダーで構成されるマルチキャストIPアドレス>/127
m=video<エンコーダーのターゲットポートで使用されるポート>RTP/AVP 96
a=rtpmap:96 H264/90000
m=audio<ターゲットポート+2で使用されるポート>RTP/AVP 98
a=rtpmap:98 L16/48000/2
```

2. SDPファイルをコンピューターに保存します。
3. VLCメディアプレーヤーを起動します。
4. メディアを選択して、SDPファイルを開きます。
5. [Play(再生)]をクリックします。



エンコーダーで構成されるターゲットIPアドレスは、コンピューターのIPアドレスである必要があります。

### ▶ ユニキャストストリームの再生

1. ユニキャストストリームを送信するようにエンコーダーが構成されている場合、プレーヤーとして使用するコンピューターで、メモ帳などのテキストエディターを使用し、次のパラメーターを含むSDPテキストファイルを作成します。

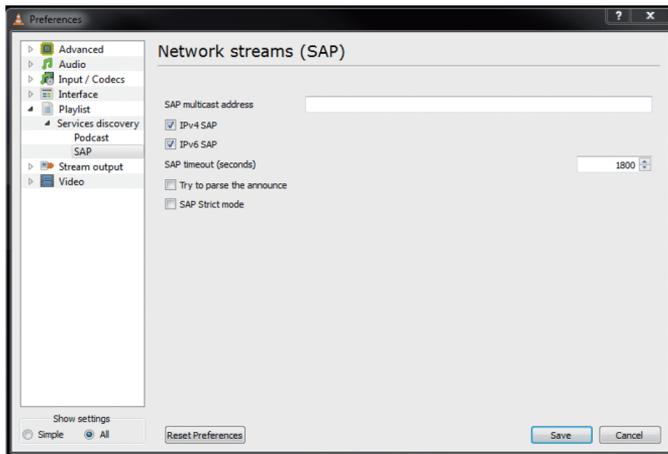
```
c=IN IP4 <エンコーダーに構成されるターゲット IP アドレス>
m=video <ターゲットポートで使用されるポート> RTP/AVP 96
a=rtpmap:96 H264/90000
m=audio <ターゲットポート +2 で使用されるポート> RTP/AVP 98
a=rtpmap:98 L16/48000/2
```

2. SDP ファイルをコンピューターに保存します。
3. VLC メディア プレーヤーを起動します。
4. メディアを選択して、SDP ファイルを開きます。
5. [Play(再生)]をクリックします。

### ▶ SAPプロトコルを使用してVLCプレーヤーを設定するには

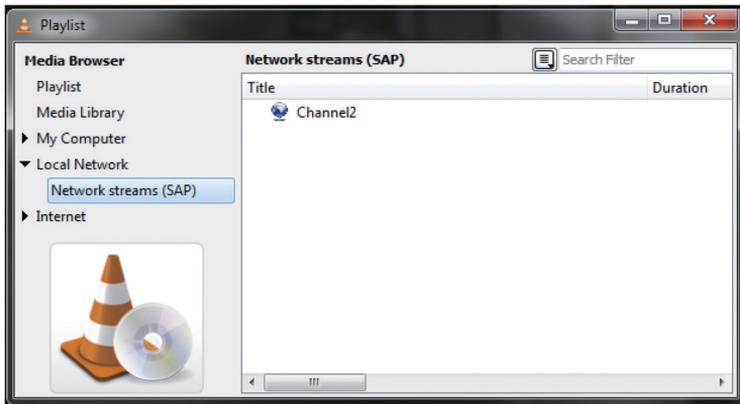
VLCでSAPを検出するには、VLCでパラメーターを1つ変更する必要があります。VLCプレーヤーを起動して、メニューから[Tools(ツール)] > [Preferences(環境設定)]を選択します。

1. [Show Settings(設定の表示)]で[All(すべて)]オプションをクリックします。
2. [Playlist(再生リスト)] > [Service discovery(サービスの検出)]を展開して、[SAP]を選択します。
3. [Try to parse the announce(アナウンスメントの解析を試行)]オプションをオフにします。



いくつかのコンピューターでは、VLCでSAPチャンネルを検出するために、[SAP multicast address (SAPマルチキャストアドレス)]フィールドにSprintエンコーダーのSAP IPアドレスを指定する必要があることが示されます。

4. VLCのメインメニューから[View(表示)] > [Playlist(再生リスト)]を選択します。[Playlist(再生リスト)]ウィンドウが表示されます。
5. Media Browserで、[Local Network(ローカルネットワーク)]を展開して、[Network Stream(ネットワークストリーム)]を選択します。利用可能なストリームのリストが表示されます。再生するストリームを選択します。





## メディアエッジ株式会社

10:00~12:00 / 13:00~17:00  
(土日祝祭日・当社指定休日を除く)

- 神戸本社 TEL:078-265-1551 FAX:078-265-1550  
〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル23F
- 東京本部 TEL:03-3517-1655 FAX:03-3517-1657  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-2-18 海老屋ビル7F
- e-mail info-mec@mediaedge.co.jp

最新の製品情報はWEBで <http://www.mediaedge.co.jp>